

学校・公民館統廃合、人口減少社会をのりこえ
医療・福祉充実の福山を

市民公開講座

地方創生・広域連携は 福山に何をもたらすか？

日本共産党がおこなった市民アンケートには、「子ども医療費の無料化」「保育料を安く」や「中学校給食の実現を」、「介護の充実」など数多く寄せられました。

しかし福山市は、切実な願いには背を向け、「選択と集中」として大規模な自治体再編を進める「連携中枢都市圏構想」を進めています。

そして、強引な小・中学校の統廃合や市立保育所の民営化、介護切り捨てや、長寿祝い金・重症心身障がい者福祉年金の廃止、水道料金の値上げなど、負担増・給付減を繰り返しています。

2016年4月10日、福山市議会議員選挙がおこなわれます。

「選択と集中」政策に対し、「住み続けられるまちとは？」「どのような市政を選ぶか？」を問いかける市民公開講座を開催します。

1月31日 日
午後2時～
リム・ふくやま
7階セミナールームB

なんで
学校を
なくすん？

老後を
安心して
暮らせるかな…

福山は
お金ないの？

福山の
子育て支援って
どうなってるん？

報告

報告 村上 博（広島修道大教授）

●連携中枢都市 福山のねらいは？

報告 日本共産党福山市議団

●アンケートからみる市民の願い

主催：広島自治権問題研究所

共催：日本共産党福山市議会議員団 福山市霞町3丁目4-25-401 084-922-2815

講座

講座 中山 徹（奈良女子大学教授）

●みんなが輝く福山のまちづくりは？

●フロアディスカッション

参加者みんなでこれからの福山を考えます。

入場
無料

